

○関東・中部地方の地震活動

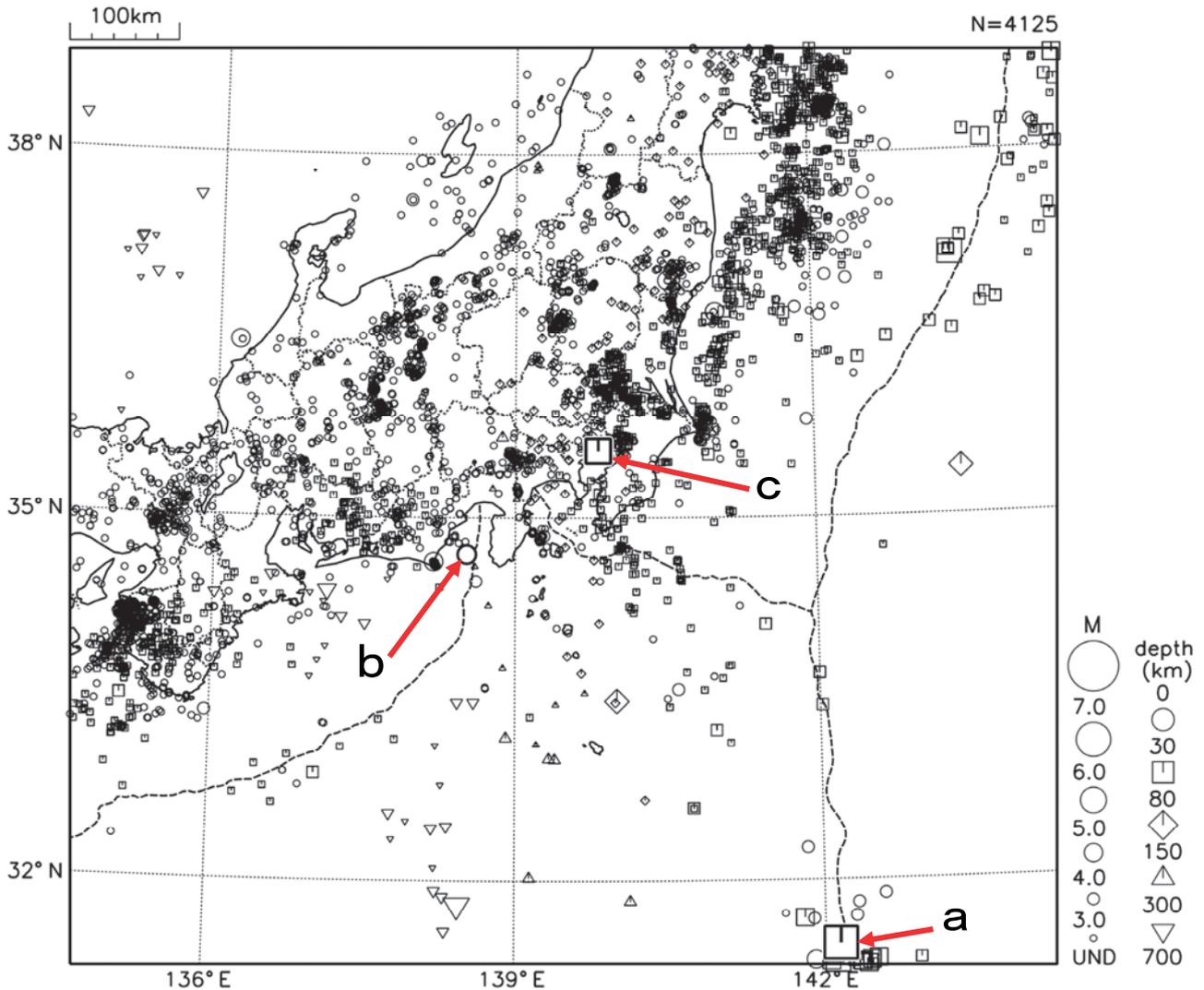


図6 関東・中部地方の震央分布図（2015年9月1日～9月30日）

[概況]

9月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は53回（8月は62回）であった。9月中の主な地震活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（p. 8の図5、p. 9参照）。

2日00時25分に鳥島近海でM6.1の地震（図6中のa）が発生した。震度1以上を観測した地点はなかった（p. 11参照）。

8日20時22分に駿河湾の深さ23kmでM4.6の地震（図6中のb）が発生し、静岡県で震度3を観測したほか、関東甲信地方から東海地方にかけて震度2～1を観測した（p. 4、12参照）。

12日05時49分に東京湾の深さ57kmでM5.2の地震（図6中のc）が発生し、東京都調布市で震度5弱を観測したほか、関東地方を中心に、東北地方から中部地方にかけて震度4～1を観測した（p. 4、13参照）。

17日07時54分（日本時間）にチリ中部沿岸で発生したMw8.3の地震（上図範囲外）により津波が発生し、太平洋沿岸や伊豆・小笠原諸島で津波を観測した（p. 48～54参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔チリ中部沖〕である。